

(平成29年 5月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水 産 物 全 般	5月の水産物の総入荷量は、漁獲が低調であった魚種が多く、前年同月と比べ、鮮魚、冷凍魚、加工水産物ともに入荷量が下回り、全体で6%下回った。 総取扱金額は、前年同月と比べ、冷凍魚は増加したが、鮮魚は減少しており、全体として前年並みとなった。
(区分別の動向) 鮮 魚	5月の鮮魚の入荷量は、前年同月と比べ、7%下回り、単価は3%上回った。 品目別には、かつお、すずき、水かれいは入荷量が上回り、単価は下回った。あまだい、よこわ、まいわし、たこは入荷量が下回り、単価は上回った。 6月の鮮魚は、古くから梅雨に入ると、はも、たこが美味しくなるといわれており、夏の終わりまで漁の最盛期となる。また、いさきは、6月から7月にかけて旬を迎え、脂が乗ってくる。他に、すずき、あじ、けんさきいか、あゆ等も夏を代表する魚である。
冷 凍 魚	5月の冷凍魚の入荷量は、前年同月と比べ、7%下回り、単価は14%上回った。 品目別には、冷さけ、冷えびは海外の需要が高く、また単価が上回ったことから国内の需要が低下しており、入荷量は下回った。 6月の冷凍魚は、引き続き海外の需要が旺盛であることから、単価は現状のまま続くことが予想される。また、6月から東南アジアを中心に、養殖えびの出荷が本格化していく。

加 工 水 産 物	5月の加工水産物の入荷量は、前年同月と比べ、4%下回り、単価は6%上回った。 品目別には、塩銀さけ、開干あじ、丸干いわし、丸干ししゃもは入荷量が下回り、単価は上回った。塩紅さけは、入荷量が上回り、単価は下回った。 ちりめんは、4月の漁は低調であったものの、5月は豊漁となり、品質も良品が増えたことから、入荷量、単価ともに前年同月と比べ上回った。すけそうこは、需要の低下とともに、低価格帯の製品が売れ筋となっていることから、入荷量、単価とも前年同月と比べ下回った。
------------------	--

※鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

品 目	市 況 の 概 要
(鮮魚主要品目)	
ま あ じ	長崎，徳島で水揚げされたものが主体の入荷で，入荷量は前年同月並みであったが，前年と比べ中小型サイズが増加したため単価は11%下回った。
ま い わ し	千葉，三重で水揚げされたものが主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ55%下回り，単価は18%上回った。
さ ば	静岡，千葉で水揚げされたものが主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ4%下回ったが，小型サイズが多かったため単価は18%下回った。
す る め い か	石川で水揚げされたものが主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ28%下回ったが，小型サイズ主体となったため単価は6%下回った。
太 物	入荷量は前年同月と比べ10%下回り，単価は5%上回った。
け ん さ き い か	長崎で水揚げされたものが主体の入荷で，入荷量は前年同月と比べ3%下回り，単価は3%上回った。
あ ま だ い	長崎，山口で水揚げされたものが主体の入荷で，単価の安い輸入物が減少したことから，入荷量は前年同月と比べ38%下回り，単価は22%上回った。
(冷凍魚主要品目)	
冷 さ ば	国内外ともに原料となる大型サイズの漁獲が少なく，入荷量は前年同月と比べ19%下回り，単価は12%上回った。
冷 す る め い か	入荷量は前年同月と比べ55%下回り，単価は59%上回った。

(加工水産物主要品目)	
塩　　さ　　ば	入荷量は前年同月と比べ４％下回り，単価は２％上回った。
身　欠　に　し　ん	入荷量は前年同月と比べ３０％下回り，単価は１２％上回った。